

作業上の注意

- ・システム全体の故障診断は22-23頁を参照し順をおって点検する
- ・エンジン コントロール ユニットのユニットは落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因となるため、取扱いには充分注意すること。また、電流が流れているときに、コネクタやケーブルの断、接続を行うとユニットに過電圧が発生し、ユニット内回路の損傷につながることもある。必ずメイン スイッチをOFFにして作業すること。

RCバルブ、サーボ モータの点検

19-2 頁を参照し、RCバルブの作動点検を行う。  
 正常に作動しない場合についても19-2 頁を参照しサーボ モータの点検を行う。

ワイヤ ハーネス、エンジン コントロール ユニットの点検

サーボ モータを点検し、異常がない場合は下記の点検を行う。  
 シート カウル、フューエル タンクを取外す。(⇒4-2)  
 エンジン コントロール ユニットの入力電圧を点検する。  
 (⇒22-42)  
 バッテリ電圧があれば正常である。

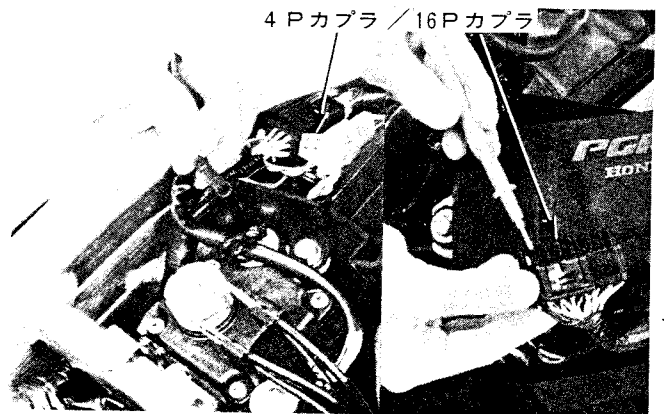
バッテリ電圧がない場合は、ワイヤ ハーネスの断線、サブ ヒューズ切れを点検する。



バッテリ電圧がある場合は、サーボ モータのハーネス側4 Pカプラ、コネクタとエンジン コントロール ユニットのハーネス側16Pおよび4 Pカプラ間で下記の導通点検を行う。

サーボ モータ側	白	白/赤	青/緑	黄/赤	若/葉
	}	}	}	}	}
ユニット側	白	白/赤	青/緑	黄/赤	若/葉

導通がなければ、ワイヤ ハーネスの交換、又は修正をする。



導通点検で正常な場合は、エンジン コントロール ユニットの出力電圧点検を行う。(⇒22-43)

エンジン コントロール ユニットの16Pと4 Pカプラを接続する。メインスイッチをONにする。

接続方法

⊕ 黄/赤 ~ 青/緑 ⊖ 間

標準電圧：4-5 V

電圧がない場合は、エンジン コントロールユニットを点検する。

